

第17回 いしのまき本の教室

街の本屋さんで待つ

広島の本屋さん「ウィー東城店」から街の本屋さんの可能性を考える

広島街の本屋さん「ウィー東城店」は街のさまざまな相談ごとを引き受け、本屋さんという業態を超えた街に欠かせないお店になっています。そんな新たな本屋のあり方を参考にしながら、街に位置するお店のこれからの可能性を考えます。



2023年

3月18日(土)18時-

出演

佐藤友則 (ウィー東城店)

島田潤一郎 (夏葉社)

会場

石巻まちの本棚

宮城県石巻市中央2-3-16 たん書房ビル1F

オンライン配信もあります

主催 石巻まちの本棚、一箱本送り隊、ISHINOMAKI2.0

石巻

石巻まちの本棚

ISHINOMAKI BOOKSHELF

広島県の人口約7000人の街の庄原市にある書店「ウィー東城店」の佐藤友則さんの話を夏葉社島田さんがまとめた書籍「本屋で待つ」には街の本屋さんの大きな可能性が詰まっています。老舗書店の長男だった佐藤さんは、街の人たちの相談ごとに応えることで赤字続きだった書店を立て直します。そして本屋さんが街の人たちにとって信頼をよせる特別なお店に変わっていくことがわかります。前半はそんな佐藤さんと島田さんの話を通じてこれからの本屋さんを考えます。後半のワークショップでは、「石巻まちの本棚」の可能性を拡げる新たなアイデアを参加者とともに出し合い話し合います。



『本屋で待つ』夏葉社 1600円 + 税

著者：佐藤友則、島田潤一郎

*石巻まちの本棚でも取り扱いございます。

佐藤友則

1976年広島県生まれ。大阪商業大学中退。愛知の書店チェーン「いまじん」にて修行後、2001年よりウィー東城店に勤務。現在、株式会社総商さとう代表取締役

島田潤一郎

1976年高知県生まれ。東京育ち。日本大学商学部会計学科卒業。大学卒業後、アルバイトや派遣社員をしながら小説家を目指していたが挫折。2009年9月に33歳で夏葉社を起業。ひとり出版社のさきがけとなり、2019年に10周年を迎えた。著書に『あしたから出版社』『父と子の絆』などがある。

第17回 いしのまき本の教室

「街の本屋さんで待つ」

広島の本屋さん「ウィー東城店」から
街の本屋さんの可能性を考える

出演 佐藤友則（ウィー東城店）
島田潤一郎（夏葉社）

参加費：1,500円

日時：2023年3月18日（土）18時～20時（開場17時半）

定員：15名（事前予約制）

会場：石巻まちの本棚

<お申し込み方法>

件名「3/18本の教室」

②お名前

③人数

④連絡先（電話・メールアドレス）

を下記メールアドレスまでおしらせください。

メールアドレス bookishinomaki@gmail.com

【オンライン配信決定！】

今回新型コロナの影響で、会場に人数制限を設けています。そのため多くの人に参加していただきたいと考え、前半トーク部分をオンライン配信することにしました。この機会に遠隔地からでもご参加できますので、ぜひとも気軽にご参加ください。



↑オンライン配信
申し込み先
オンラインストア
参加費1,000円